

貧困・虐待のための対策に関する請願

1 要 旨

貧困や虐待など問題を抱えている子供たちが、心身ともに健やかに成長していくために、子供食堂への助成や児童福祉司等の支援体制を充実するよう求める。

2 理 由

全国の児童相談所が2015年度に対応した児童虐待の件数は、児童虐待防止法施行前の1999年の8.8倍となり、過去最多を更新している。しかし、児童福祉司の増加数はわずかであるため、職員1人で多くの件数に対応しなければならなくなっている。

福井県においても、2015年度は353件の対応件数が報告され、ここ数年増加の一途をたどっているが、児童福祉司は15人、児童心理司は8人しかいない。また、福井県の18歳未満の子供がいる世帯のうち、収入が生活保護費以下の割合は5.5%、いじめは2015年度で827件が報告されている。

子供たちが抱える問題の背景にある家庭環境や社会環境に対しては、社会福祉等に関して専門的な知識や技術を持つ人材の増員が必要である。

3 提 出 者

福井の教育をよくするための県民連合

連合福井 会長 山岸克司

福井県PTA連合会 会長 橘英亜機

公益財団法人青少年育成福井県民会議 会長 山崎幸雄

一般社団法人福井県子ども会育成連合会 会長 山崎暢子

福井県退職教職員会 会長 奥本明義

福井県教職員組合 執行委員長 竹野亨

4 紹 介 議 員

山本正雄、糀谷好晃、中井玲子、井ノ部航太

5 受 理 年 月 日

平成28年11月22日